



# 2015年10月期 第2四半期決算説明資料

2015年6月11日(木)  
株式会社オハラ(証券コード:5218)

- ◆ 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ◆ ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- ◆ この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

---

◆ 2015年10月期 上期決算の概況 P03～09

---

◆ 2015年10月期 通期業績見通し P10～18



## 2015年10月期 上期決算の概況

# 業績のポイント

## <事業環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は、コンパクト、レンズ交換式ともに前年割れ
- ◆ 露光装置市場は、半導体、液晶向けともに堅調

## <当社業績>

- ◆ 光事業は、顧客在庫調整の進展により需要減少傾向は緩和
- ◆ エレクトロニクス事業は、売上堅調も石英ガラスの収益改善に遅れ

※ 14/10期より、子会社決算期統一（従前は全子会社で1-2ヶ月ズレ）、  
14/10期1Q業績には、子会社の2013年9-10月業績取り込み。  
（本資料では、上記期間の業績を除いた実質ベースで比較）

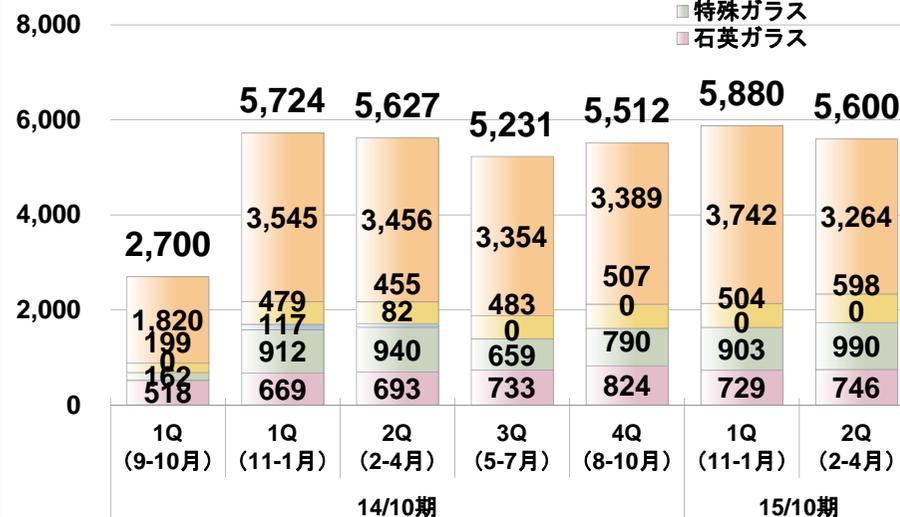
# 業績サマリー

(単位:百万円、%)

	14/10期 1Q (9-10月) ①	14/10期 上期 (11-4月) ②	15/10期 上期 (11-4月) ③	増減 (③対②)
売上高	2,700	11,352	11,481	129 1.1%
営業利益	211	142	△59	△201
[営業利益率]	7.8%	1.3%	△0.5%	—
経常利益	343	343	385	41
[経常利益率]	12.7%	3.0%	3.4%	12.2%
純利益	38	95	325	230
[純利益率]	1.4%	0.8%	2.8%	241.6%
為替レート 円/1USD 円/1EUR		期中平均 101.40 138.26	期中平均 118.84 137.10	

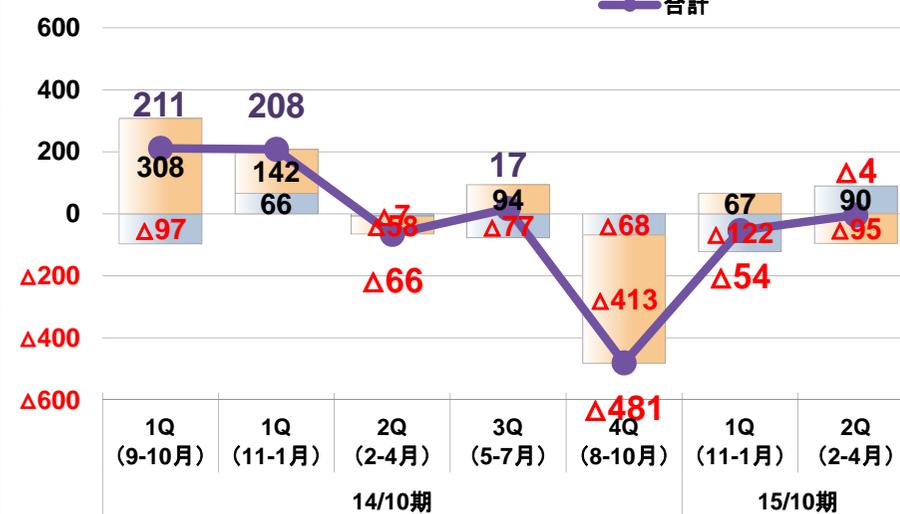
## <売上高四半期推移>

(単位:百万円)



## <営業利益四半期推移>

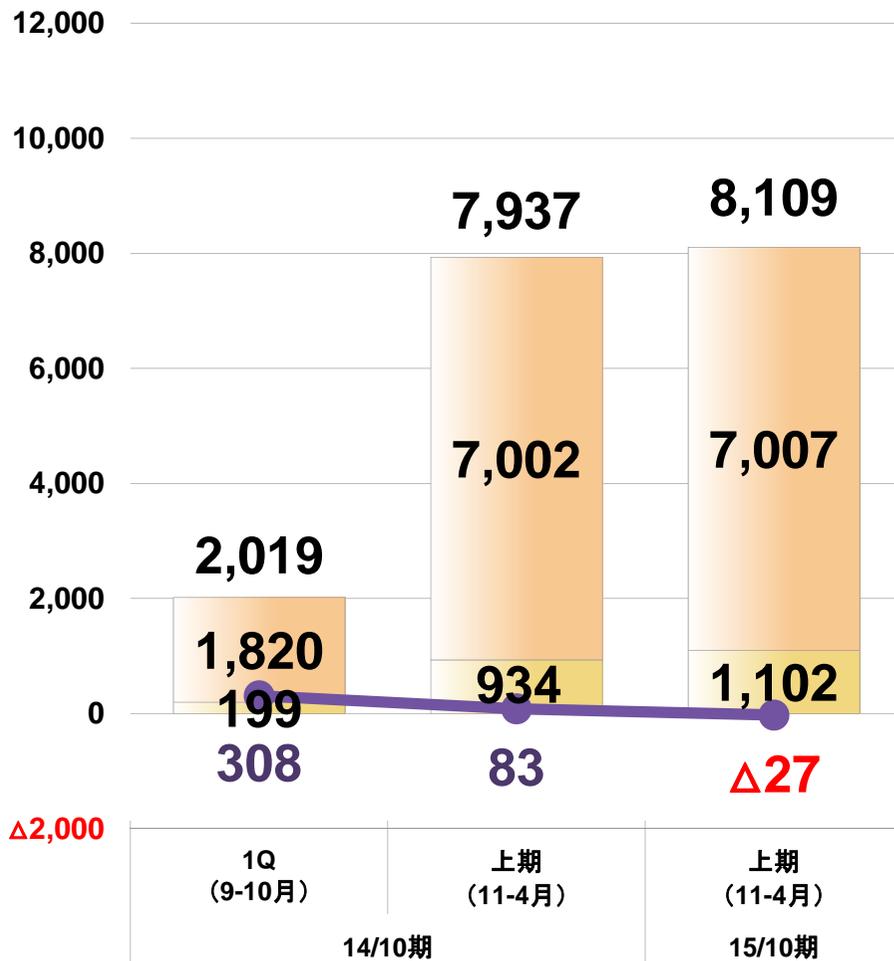
(単位:百万円)



## <上期対比>

(単位:百万円)

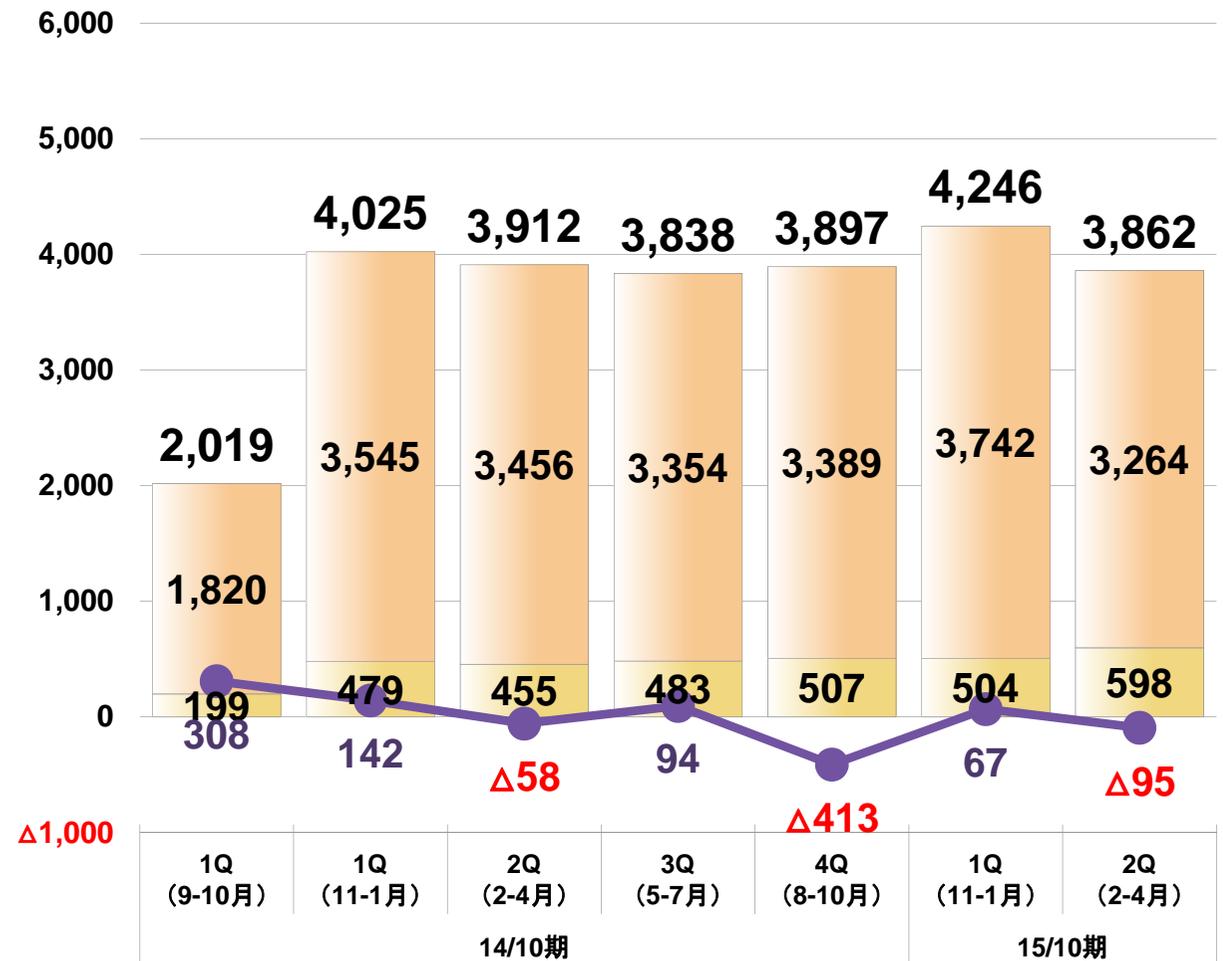
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



## <四半期推移>

(単位:百万円)

- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益

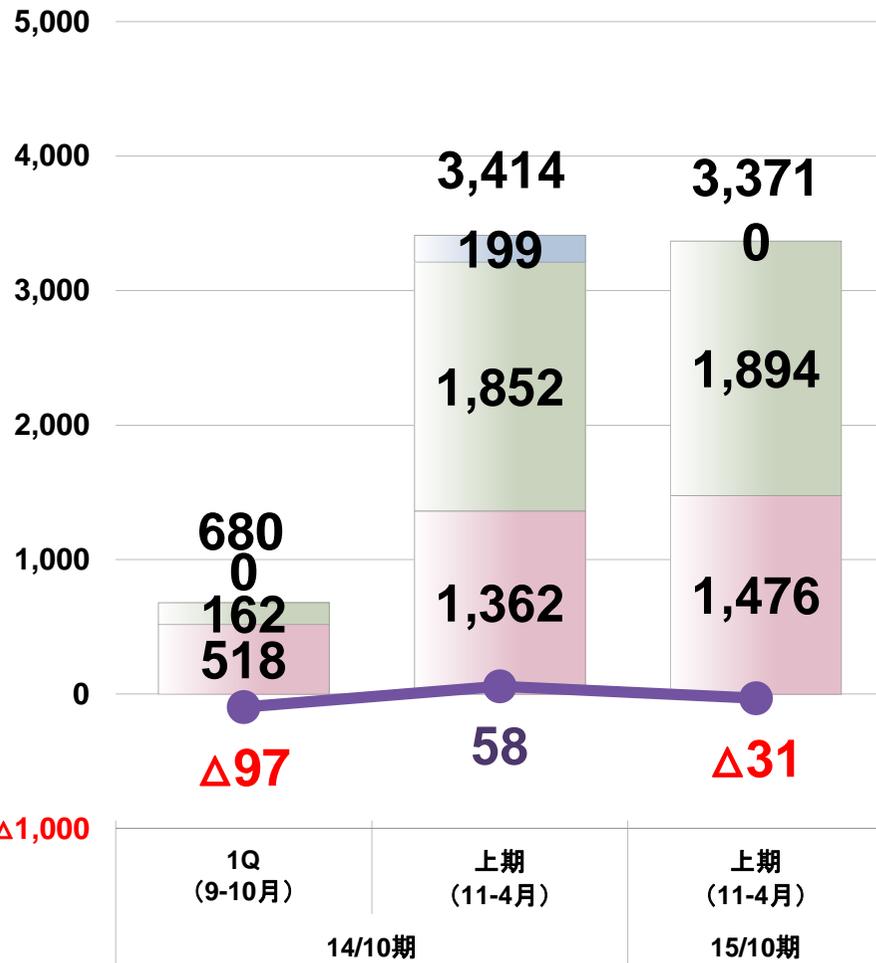


# エレクトロニクス事業

## <上期対比>

(単位:百万円)

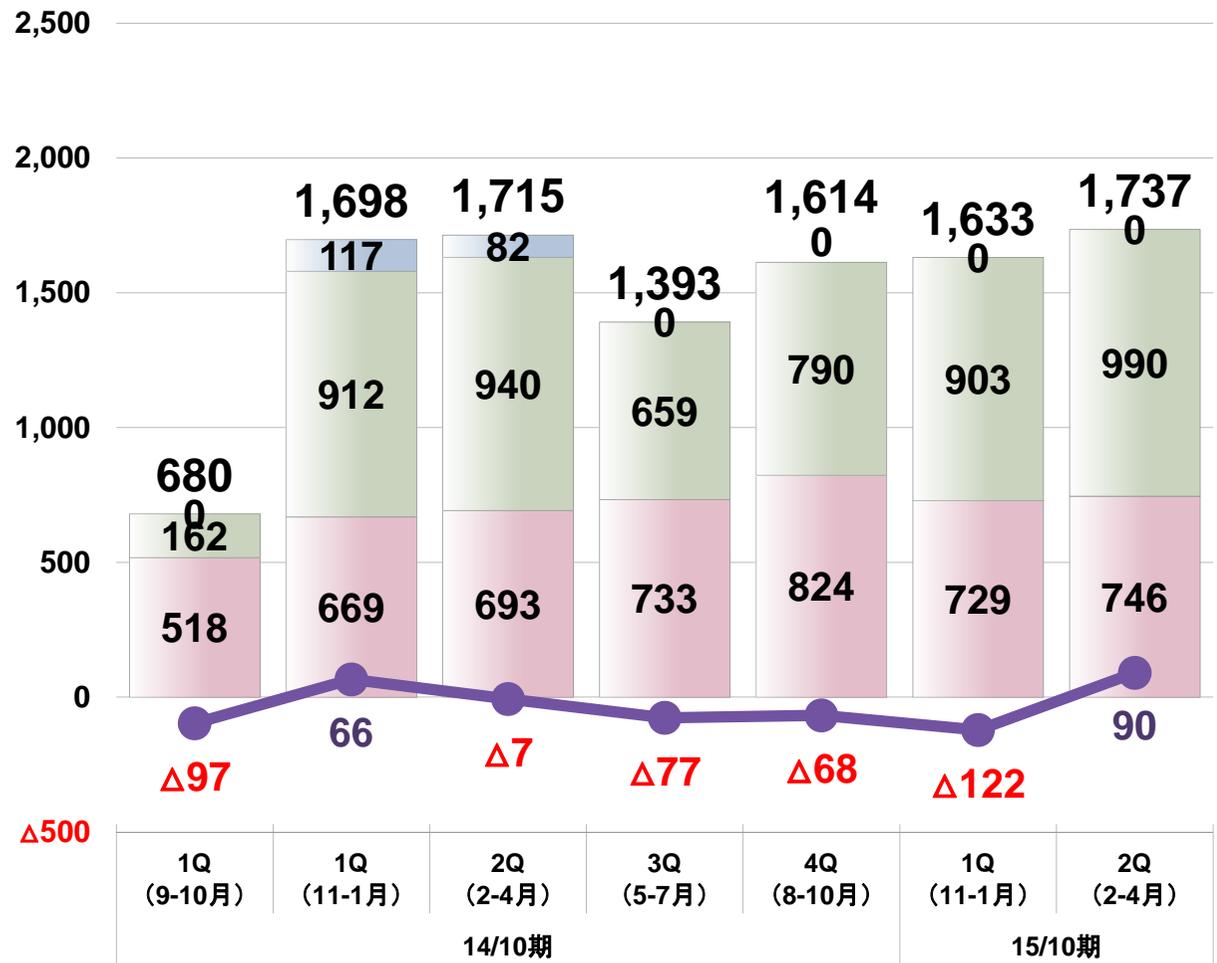
- HD用ガラス基板材売上高
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益



## <四半期推移>

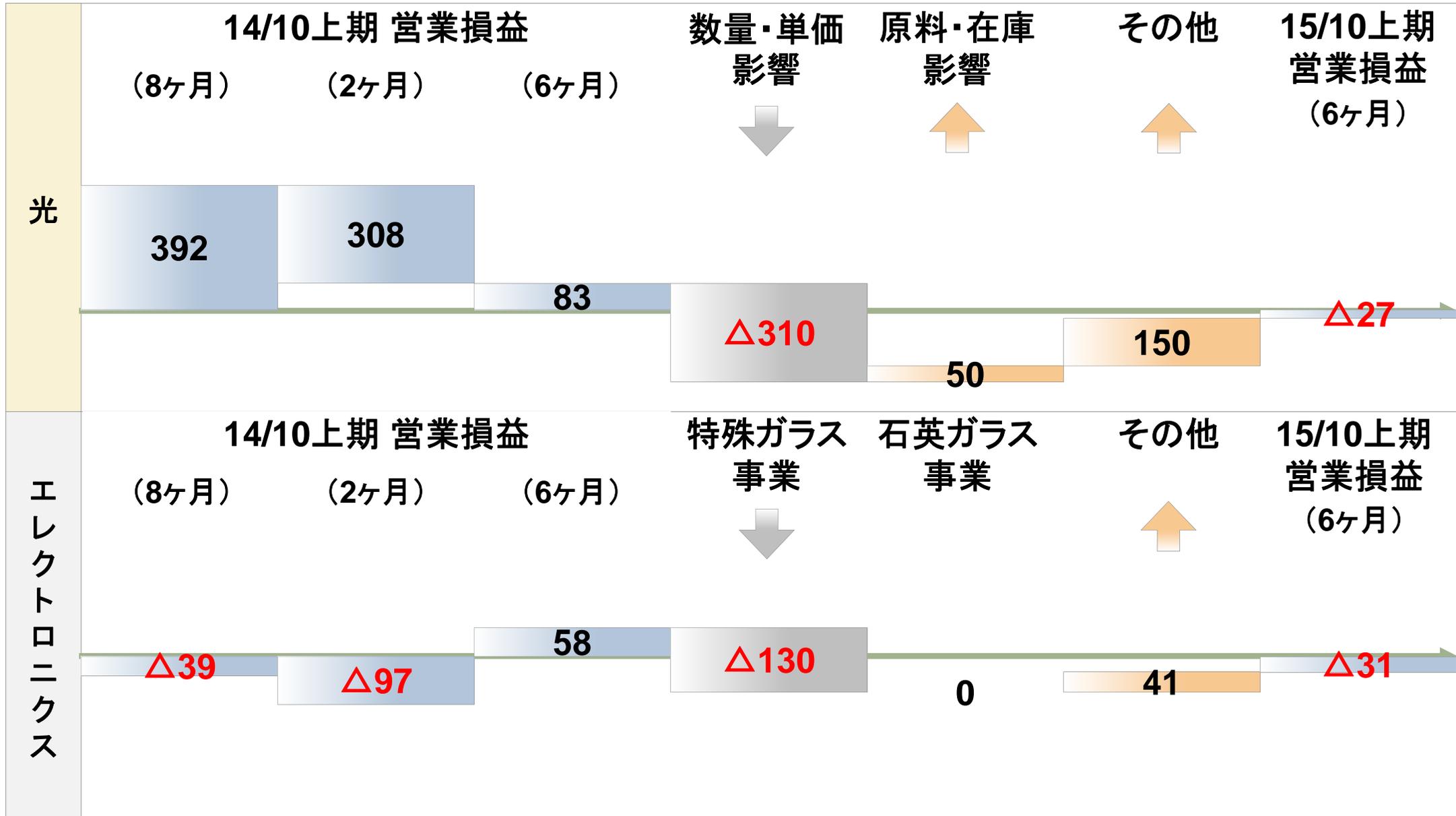
(単位:百万円)

- HD用ガラス基板材売上高
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益

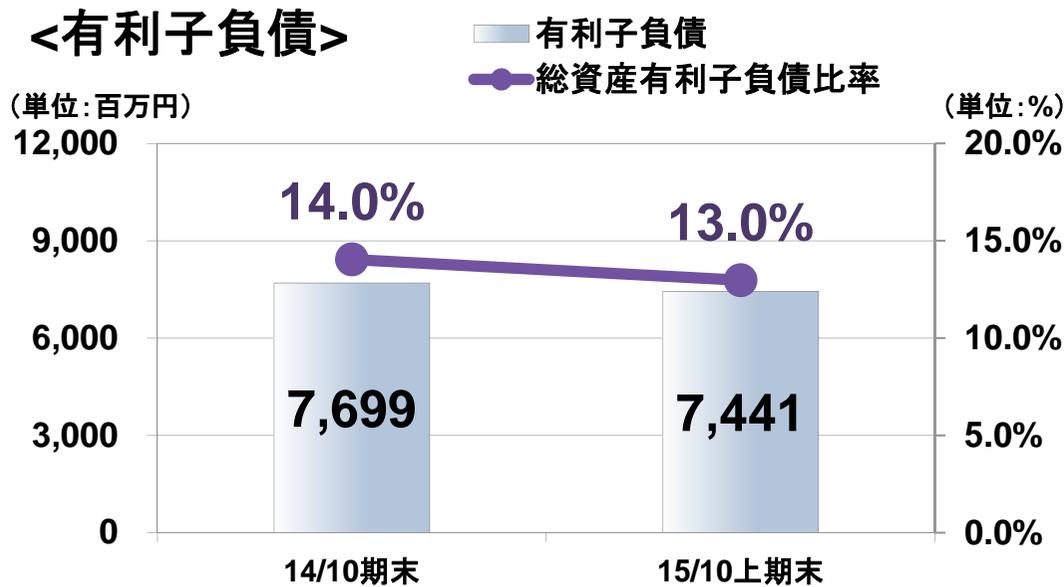
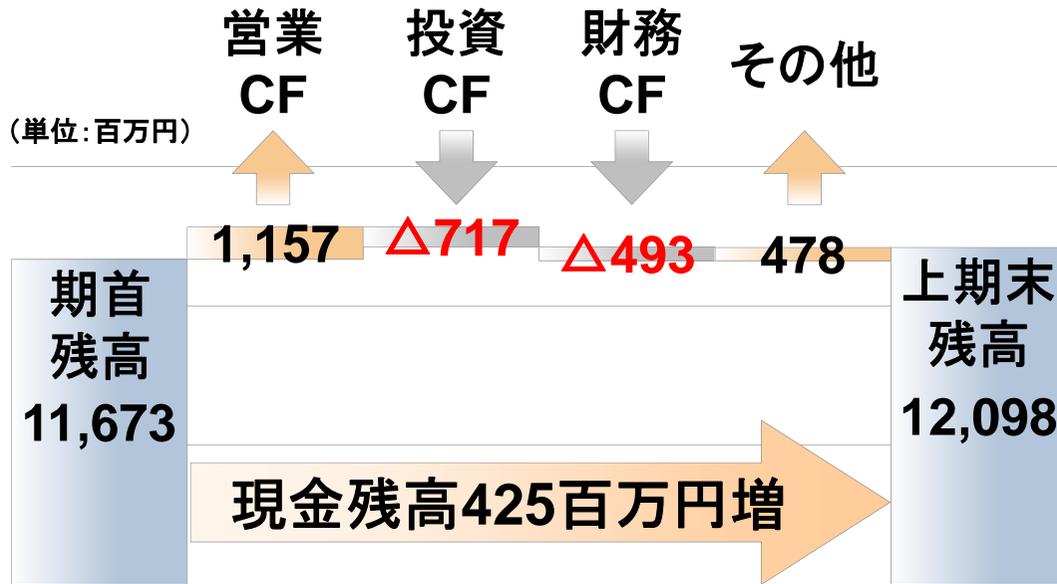


# 営業損益増減要因

(単位:百万円)



# キャッシュ・フロー



(単位:百万円)

## 営業CF増減主要因

税金等調整前純利益	693
減価償却費	687
たな卸資産の増減額	421

## 投資CF増減主要因

固定資産の取得	△824
投資有価証券の売却	232

## 財務CF増減主要因

借入金の返済	△244
配当金	△242



# 2015年10月期 通期業績見通し

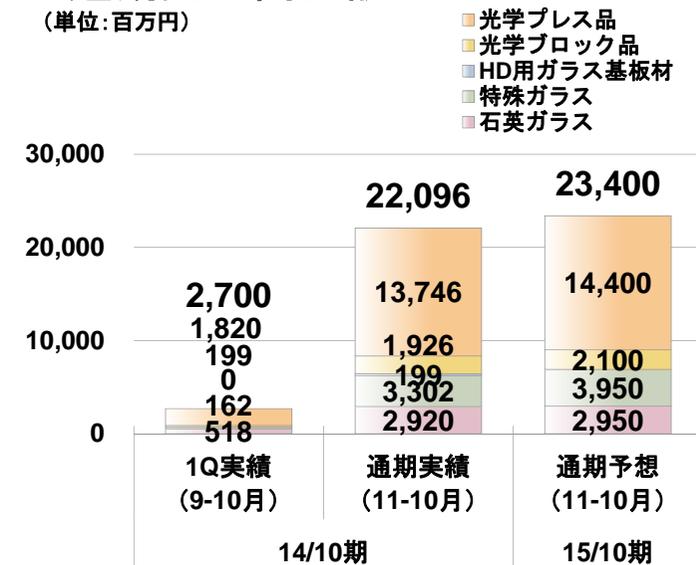
# 通期見通しサマリー(6月11日修正)

(単位:百万円、%)

	14/10期 1Q実績 (9-10月) ①	14/10期 通期実績 (11-10月) ②	15/10期 通期予想 (11-10月) ③	増減 (③対②)	14/10期 通期実績 (①+②)
売上高	2,700	22,096	23,400	1,303 5.9%	24,797
営業利益	211	△321	50	371	△110
[営業利益率]	7.8%	△1.5%	0.2%	—	△0.4%
経常利益	343	151	500	348	494
[経常利益率]	12.7%	0.7%	2.1%	231.1%	2.0%
純利益	38	△21	300	321	17
[純利益率]	1.4%	△0.1%	1.3%	—	0.1%
為替レート 円/1USD 円/1EUR		期中平均 102.53 138.20	期中平均 120.00 135.00		

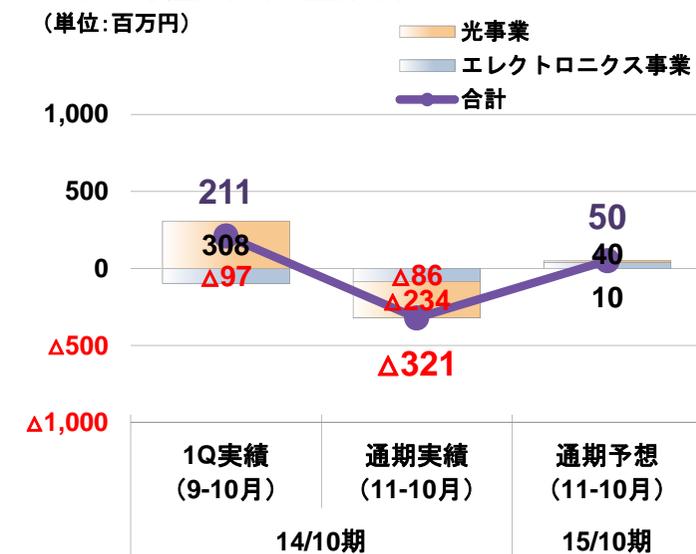
## <通期売上高内訳>

(単位:百万円)



## <通期営業利益内訳>

(単位:百万円)



# 光事業見通しのポイント①

## <事業環境>

- ◆ デジタルカメラは、コンパクトの縮小が続き、レンズ交換式は前年割れの可能性あり
- ◆ 監視カメラ需要拡大、ネットワークカメラでは解像度も向上
- ◆ 自動車の電装化進展により、車載カメラの需要伸長

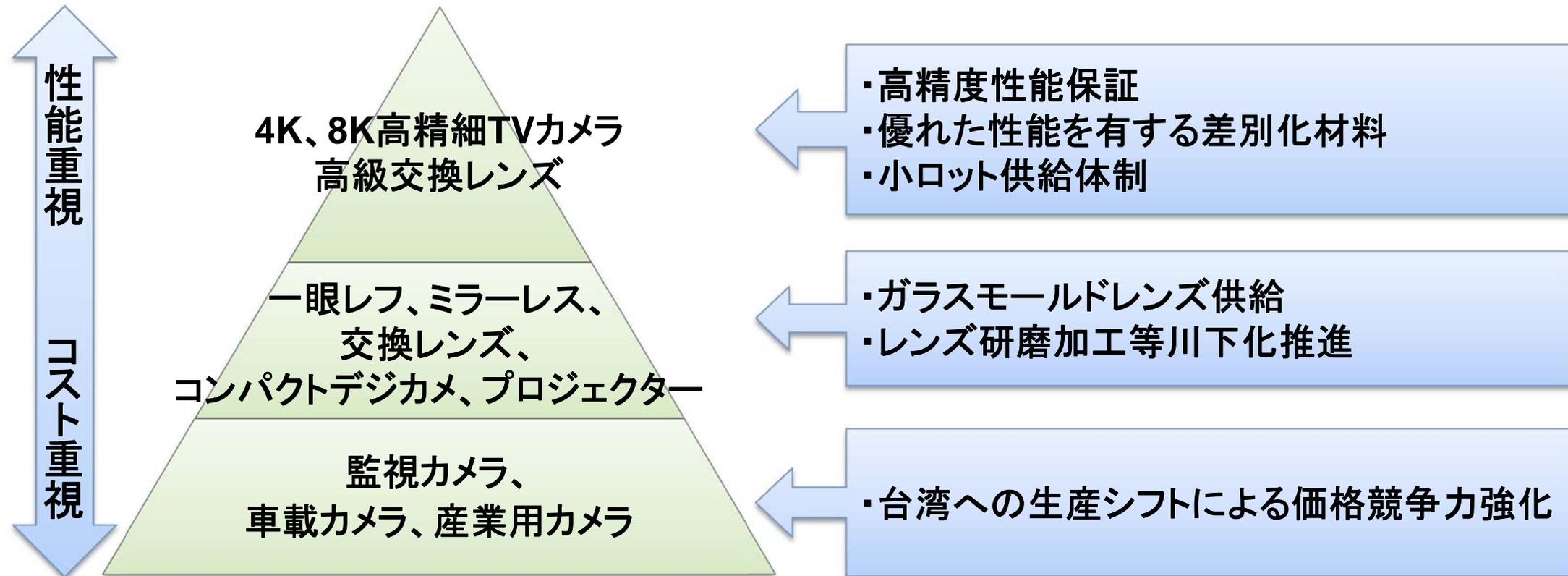
## <当社状況>

- ◆ 光学ガラスは、高品質品と普及品の2極化が進む。生産拠点の3極化推進で、双方の最適化を目指す

# 光事業見通しのポイント②

中長期では、デジカメ向け光学レンズ素材は需要横ばい、量産用光学ガラスの海外生産移管と、国内での小ロット生産と川下化(レンズ加工)で付加価値向上を図る

## ◆光学機器用レンズ材の需要は2極化

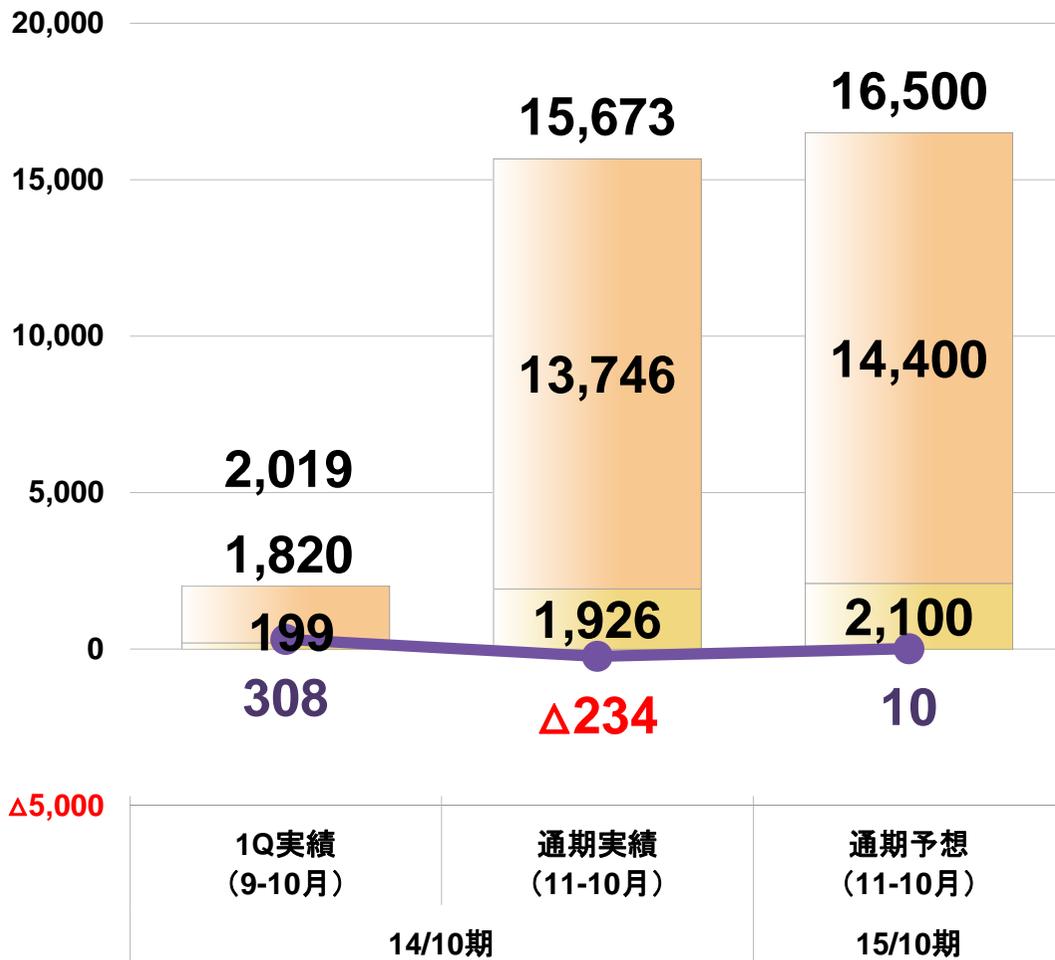


# 光事業見通し

## <通期対比>

(単位:百万円)

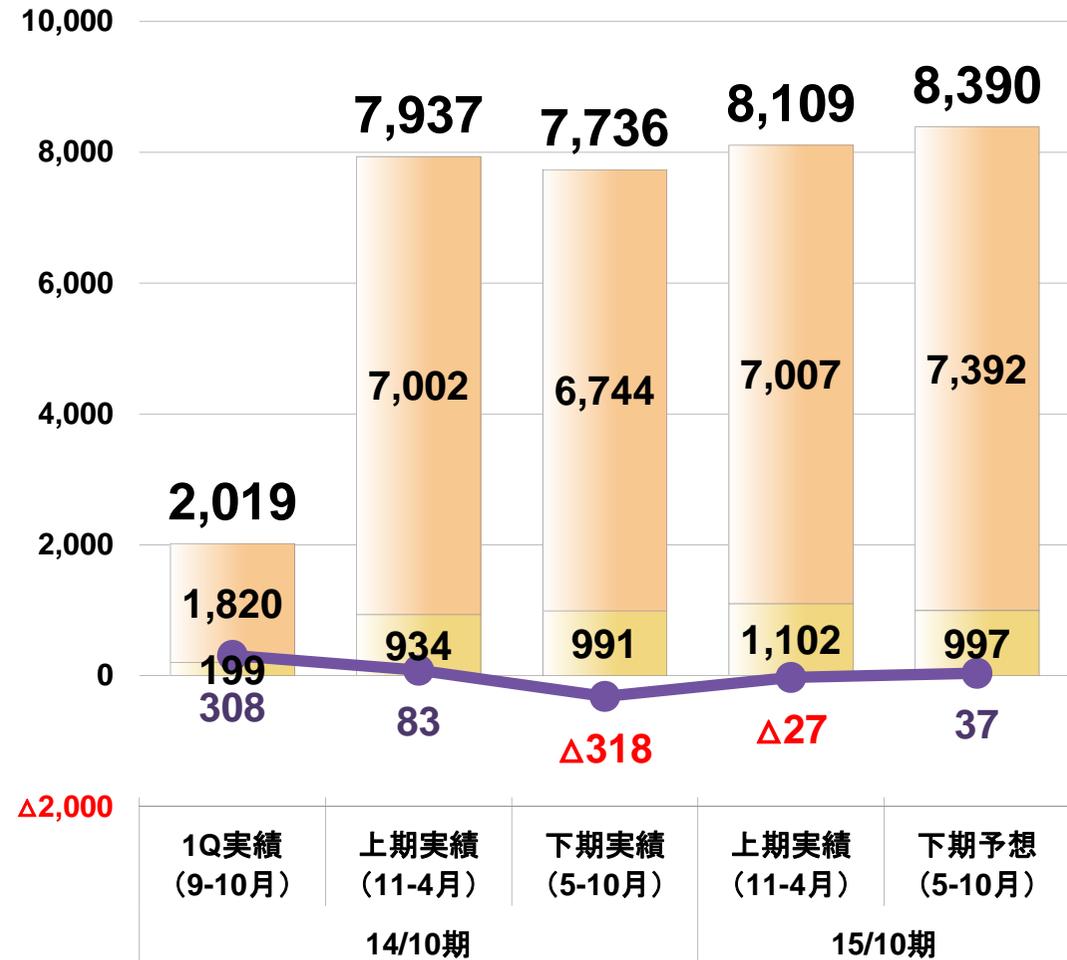
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



## <半期対比>

(単位:百万円)

- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



△5,000

△2,000

## <事業環境>

- ◆ 半導体需要は旺盛、液晶パネルも需要は堅調
- ◆ 大型天体望遠鏡など、宇宙・天文関連産業は拡大

## <当社状況>

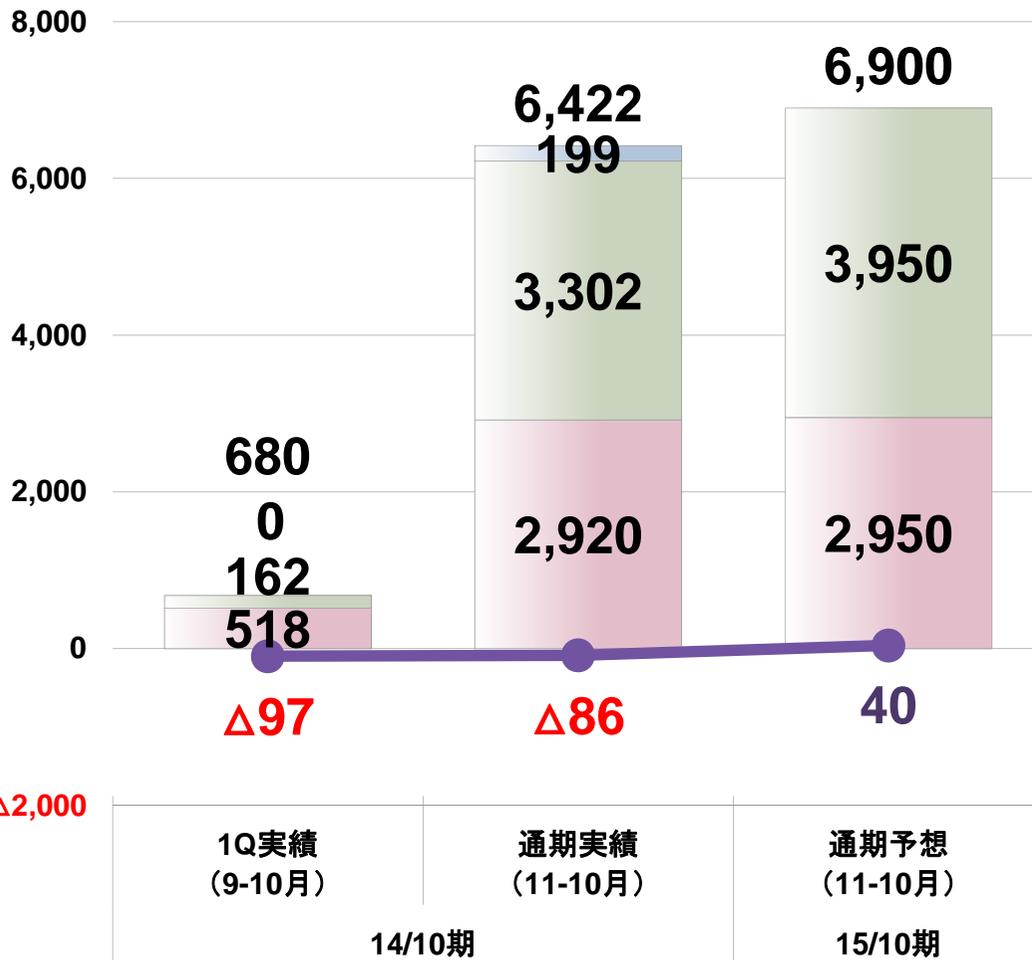
- ◆ 特殊ガラスは、露光装置向け製品の安定需要を確保、新製品開発、設備増強で需要拡大への布石を打つ
- ◆ 石英ガラスは、半導体フォトマスク用素材の原価低減を徹底し、収益性の向上を図る

# エレクトロニクス事業見通し

## <通期対比>

(単位:百万円)

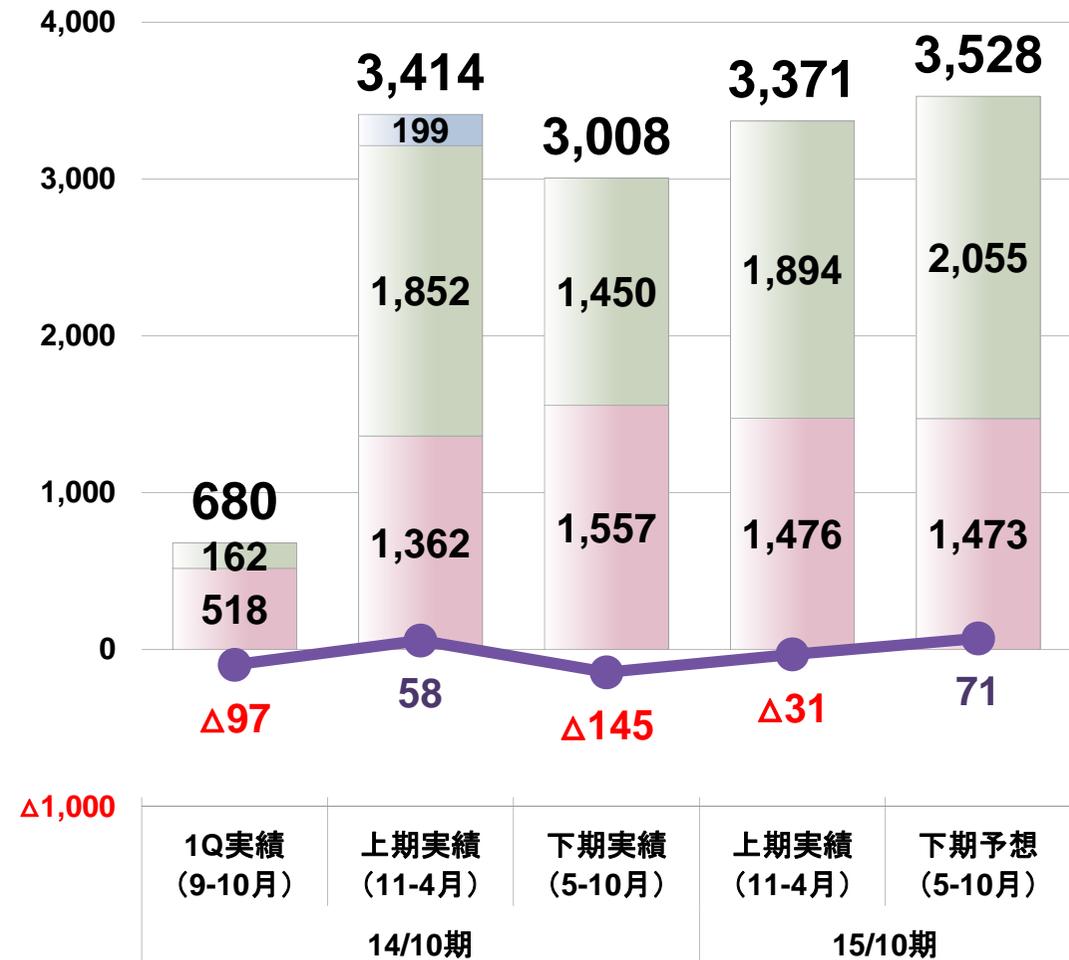
HD用ガラス基板材売上高  
 特殊ガラス売上高  
 石英ガラス売上高  
 営業利益



## <半期対比>

(単位:百万円)

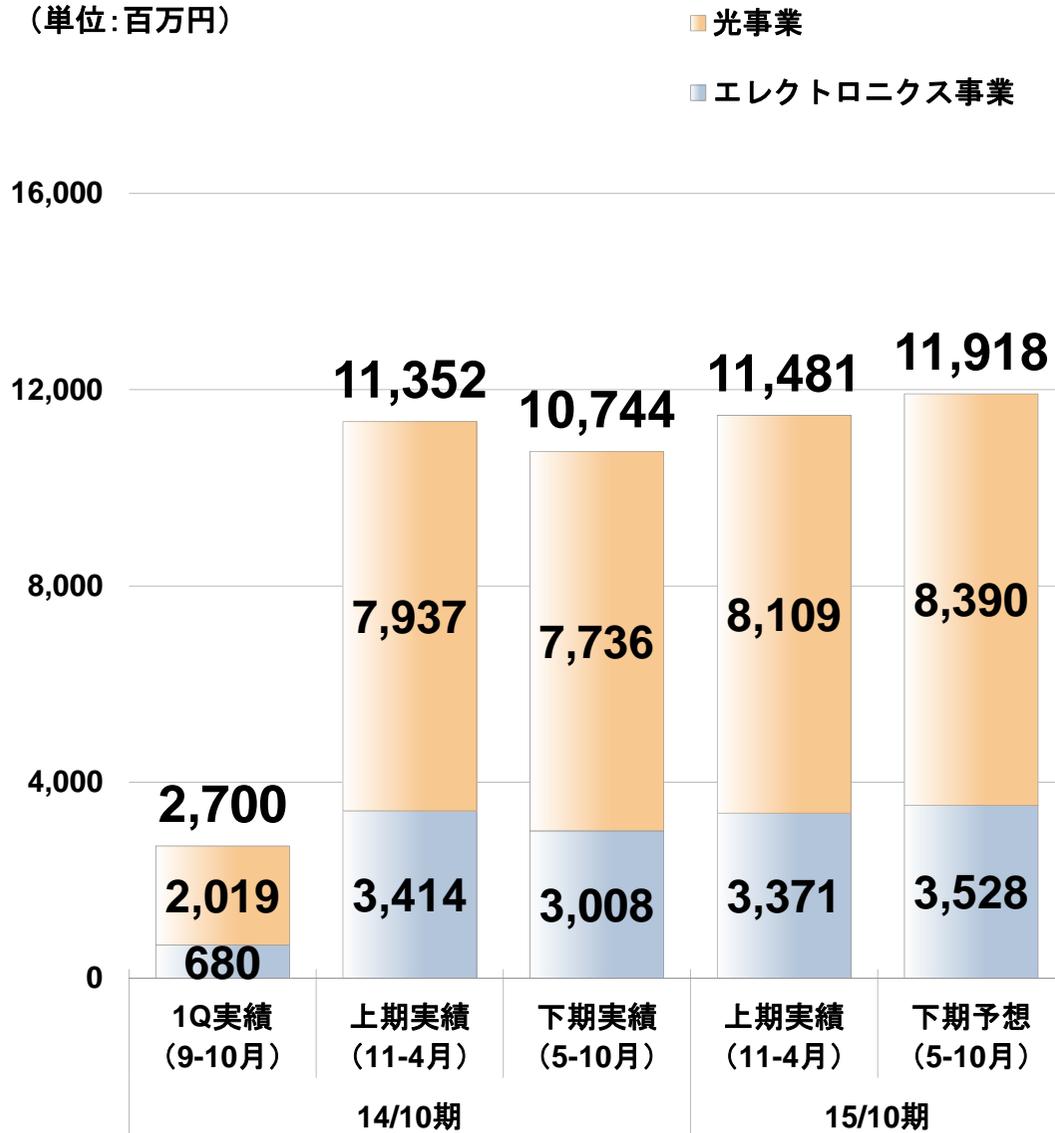
HD用ガラス基板材売上高  
 特殊ガラス売上高  
 石英ガラス売上高  
 営業利益



# 見通し数値まとめ

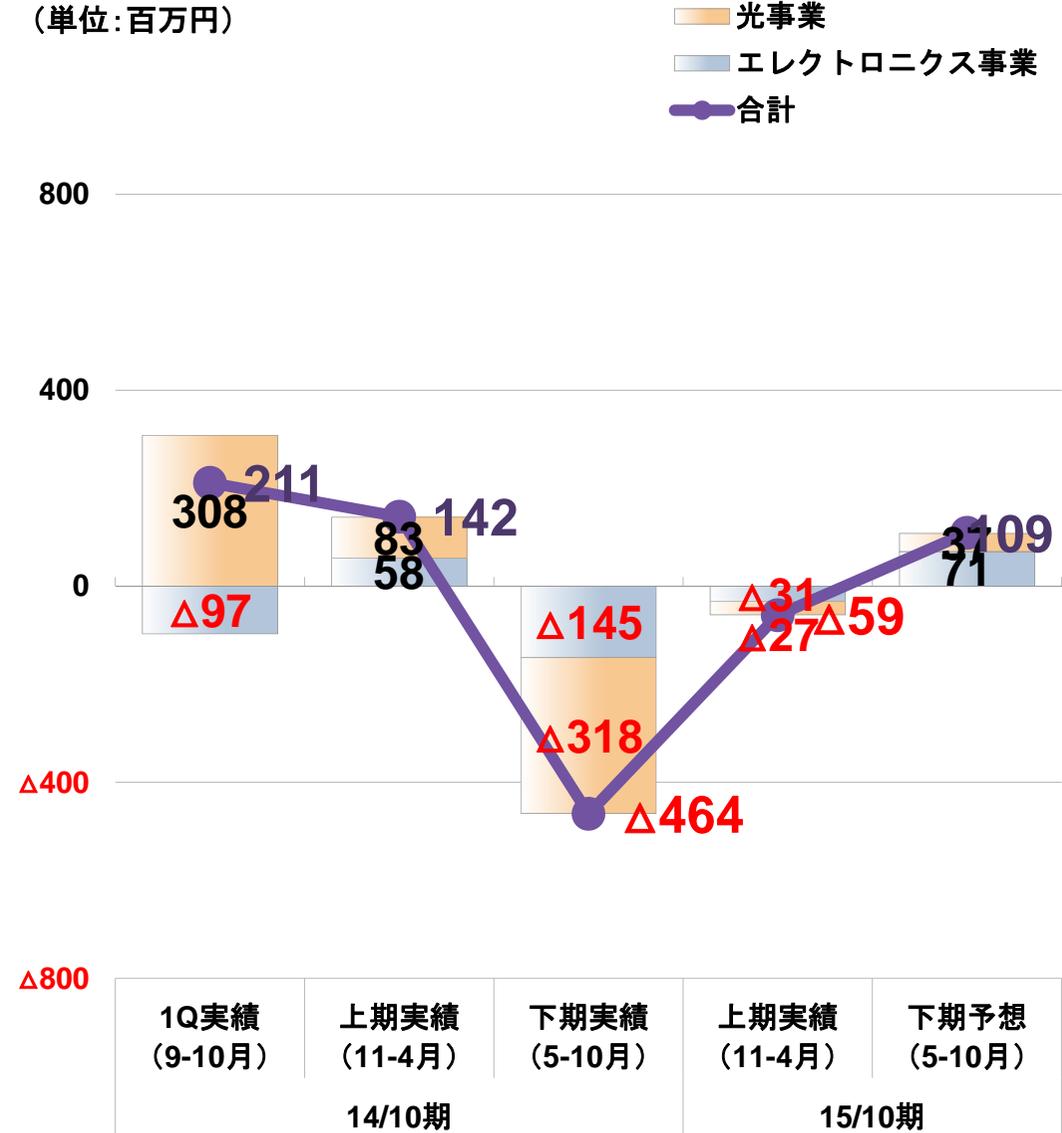
## 売上高

(単位:百万円)

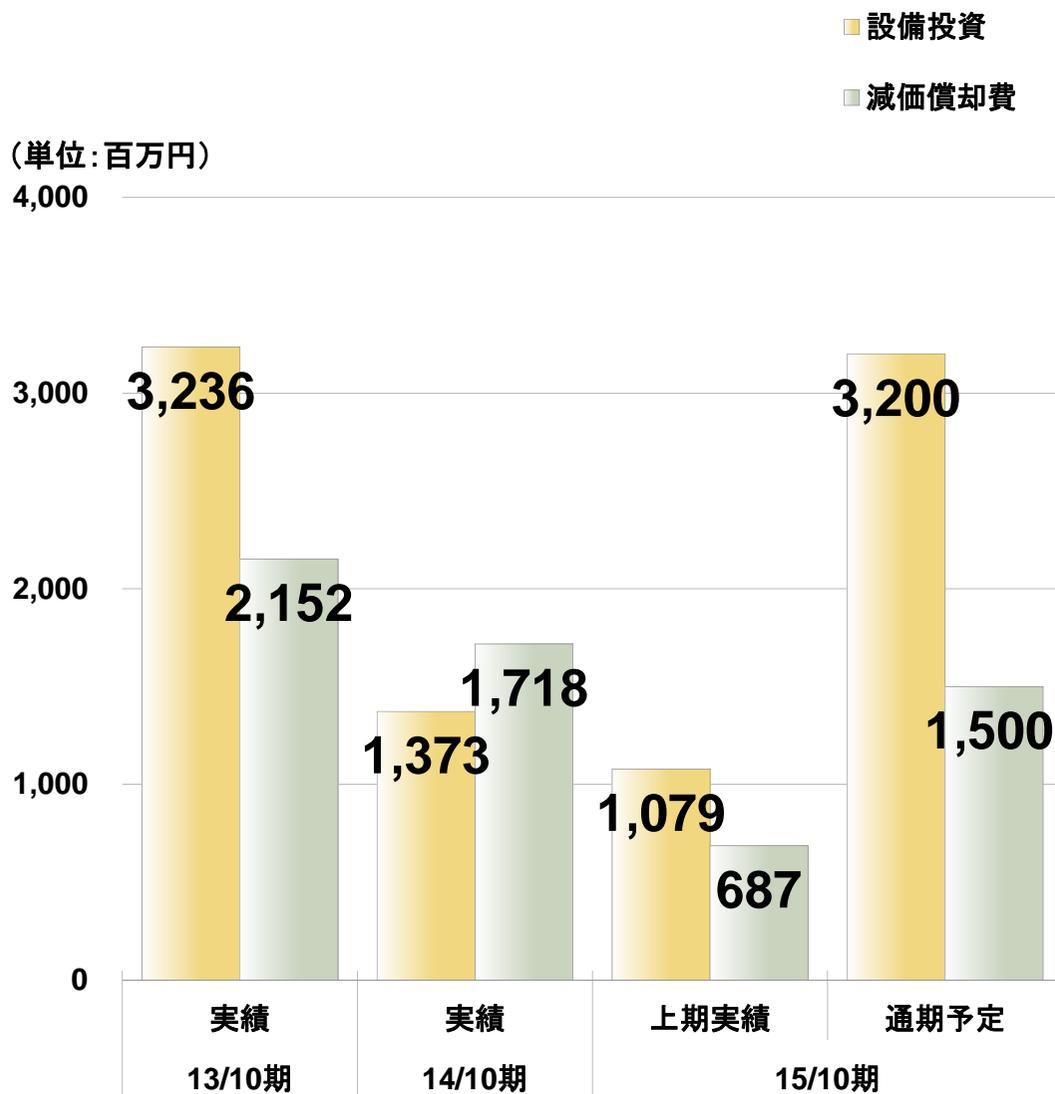


## 営業利益

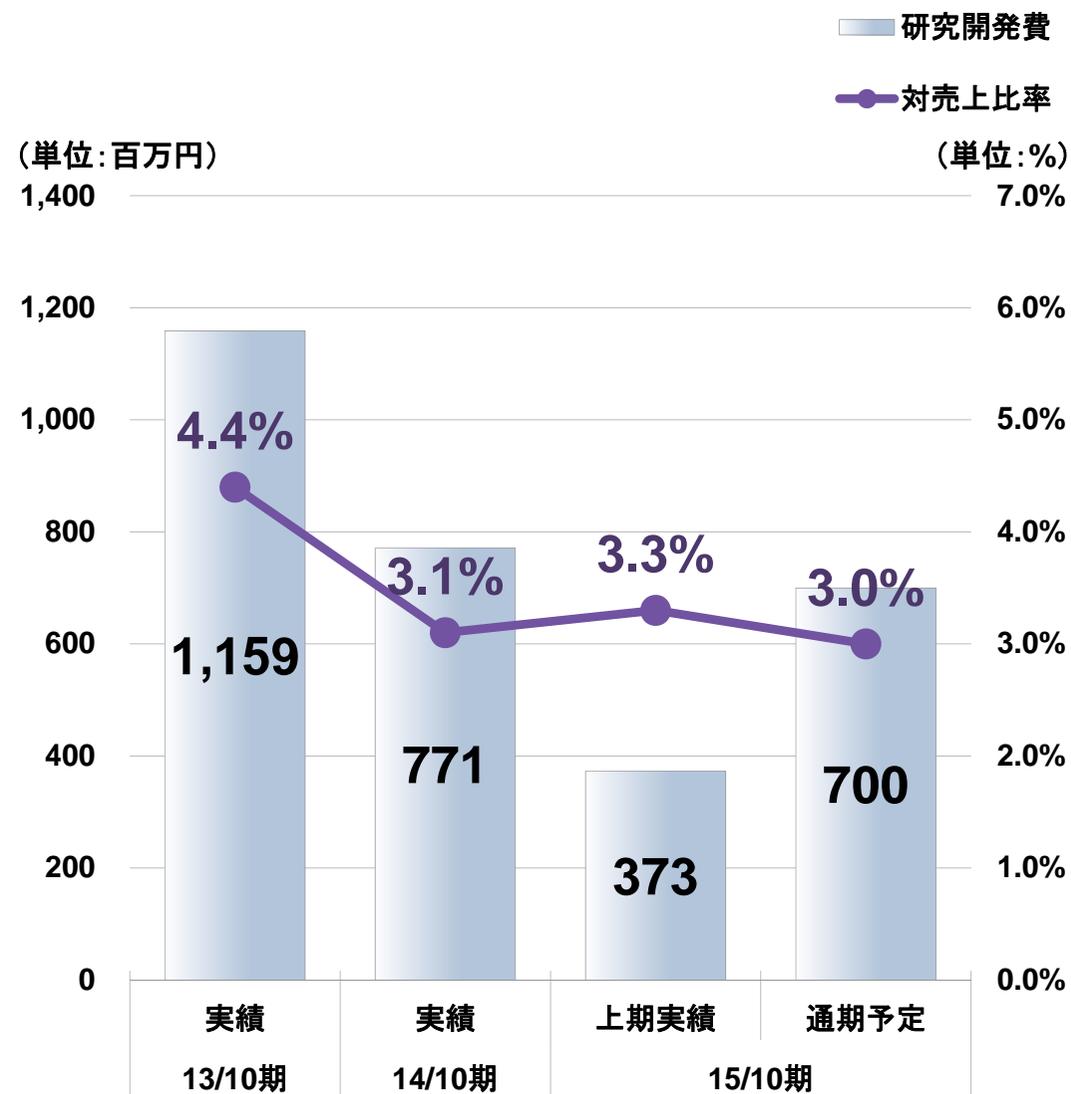
(単位:百万円)



## 設備投資、減価償却費



## 研究開発費



**OHARA**